

タッチタイピング

タッチタイピングとは

タッチタイピングとは、キーボードを見ずに文字の入力をすることです。慣れてくれば、画面や資料などを見ながら入力できるようになり、キー操作が早くなります。

「 [タッチタイピングの練習](#)」という資料を用意したので、参考にしてください。

「e-typing」でタイピング測定

皆さんのタイピング能力を測定するために、「e-typing」というサイトを使います。

- <http://www.e-typing.ne.jp/>
- 1. 「腕試しレベルチェック」を2回行う
- 2. その結果を記録用紙に記入する
- 3. 自分の成績を参考に、この授業がすべて終わるまでの目標を設定する
 - 例1) スコアを+20アップする
 - 例2) スコアを100にする
 - 例3) レベルをBにする
- 4. 設定した目標を記録用紙に記入する

まとまった文書の入力

自分のタイピングのレベルがわかった後は、実際の文章を入力してみましょう。使用するのは、日本語文書処理検定（日本商工会議所）で使われていた、3級レベル（10分間に350文字入力）の文書です。

ワープロソフト（MS-Word）を利用して行います。

1. ワープロソフトを起動する
2. 入力範囲の1行の文字数を「35」行に設定する（テキスト138～140ページ）
3. 開始の合図とともに、指定した文書を入力する
 - 時間は15分間
 - 時間内にすべて入力し終わったら、もう一度最初から入力
4. 終了の合図があったら、入力を終える
5. ワープロの機能を使って、入力文字数をカウントする
 - メニューから、「ツール」→「文字カウント」
6. 文書の最後に、カウントした文字数と学籍番号・氏名を入力する

〇〇文字
X2061000 兵庫太郎

7. プリンタで印刷し、提出する